

意 見

協議事項 地域公共交通確保維持改善事業（陸上交通における地域内フィーダー系統）に関する事業評価について

No	委員及びアドバイザーからの意見	事務局見解
1	高齢者公共交通利用券の取組みは非常に良いと思う。免許返納を促進するような文面もあると良い。運転経歴証明書の提示により、明鉄の利用料金を下げる等の取組みにより、免許返納の促進を進めてほしい。	今回の高齢者の外出支援は、フレイル予防や介護の重度化抑制に加えて市内公共交通機関の経営支援を目的としております。高齢者の公共交通の利用促進は、前述以外に免許返納や事故防止にも繋がるため、高齢者施策と共に取り組みたいと考えます。
2	公共交通に対しての目標数値の達成は利用環境の違いもあり難しい。地域住民の交通システムの利用ニーズに対して利便が高まるように交通計画のシステムの柔軟性をよろしくお願いします。	地域によって利用ニーズが異なるため、柔軟な交通体系を構築したいと考えております。
3	今後の取組は、鉄道、バス、タクシーなど複数の交通モードによって公共交通網を一体的に再構築し、実情に合った公共交通ネットワーク必要と考えますので、利用者の意見を踏まえたものとしてほしい。	地域、事業者等の協力を得ながら、地域及び利用者の需要を的確に把握し、現路線のあり方を地域と一緒にになって再検討していく予定であります。
4	交通事業者においては、コロナ禍においても感染防止を徹底し、運行継続していることに感謝申し上げます。今後の取り組み方針において、これらの取組みの継続、利用者へのマナー向上に向けたPR等の施策の検討をお願いしたい。	交通事業者による安全・安心のための取組みや利用者による感染リスクを抑えるための協力等により、引き続き安心して公共交通を利用していただけるよう取り組んでいきたいと考えております。
5	P3①について、「列車の利活用を促した」とは、具体的にどのような取組みをしたのか。	コロナ禍においても安心して利用できること、また 1/2 の運賃で乗車できる「ふれあい列車」（明知鉄道連絡協議会による支援）を学校等に情報提供した。